

## 谷川連峰：一ノ倉沢烏帽子沢奥壁南稜

- ◆日程 2022年6月17日(土)
- ◆メンバー L: TY、SD(K)、OY、OT、OB
- ◆天候 晴れ

「一ノ倉沢」、もちろん名前は知っていた。しかしほんの半年前まで、自分が行く場所だとは思っていなかった。本当に良いのか？行けるのか？と、ずっとドキドキしながら当日を迎えた。

前夜初で22:00すぎに谷川岳インフォメーションセンターに到着、テントを張ってそそくさと睡眠を取る。2:30に起床、3:00に駐車場を出発する。

一ノ倉沢出合いまでは車道を歩く。夜が明けるとともに一ノ倉沢出合いに近づき、一ノ倉沢の全貌が見えてくる。「あれが南稜だよ」とSDさんに教えて頂き、急峻さにビビる。

準備を整え、いざスタート。事前のTYさん情報では雪渓がかなり溶けていて通過できないかもしれないと話だった。いざ雪渓までたどり着いてみると、確かにクラックも走っていて危なそうに見える。SDさんとTYさんが様子を見て、雪渓上を通過することを判断。一人ひとり間隔を開けながら慎重に通過した。テールリッジも濡れていて滑りやすいところがあったり、怖いな一と思いつつも順調に通過し6:30頃には南稜テラスに到着した。一ノ倉沢出合いでは山に少し被っていた雲もとれ、文句のない快晴になっていた。

OYさん&OTさん、SDさん&TYさん&OBの2組で登攀開始。先にOYさんから、軽快にのぼっていく。自分は最初の2ピッチのリードを担当させて頂いた。

1ピッチ目はチムニーの入り口でてこずった。何度か試行錯誤をしながらなんとか上る。ロープが重くて下に引かれてしまい、ロープのクリップのやり方ももう少し考えないと、と反省。2ピッチ目は順調にクリアし、草付きを上った所でTYさんとリードを交代した。

後半は馬の背や垂直に近い最終ピッチなど、高度感、難易度もあるピッチだったが、TYさんのビレイで安心して登れた。特に馬の背の後半は角度も立っていて手も足も小さく、難しかった。リッジの右側を上ったのだから、もしかすると左側が正解だったかもしれない。最終ピッチは残置のスリングやAOも使い登り切った。初めてだし登り切れれば何でもアリ！

登りきれた事に感動を覚え、最終ピッチの上から見る一ノ倉沢は絶景だった。人間やればできるんだな一と思いつつ、まだまだ帰り道も気は抜けない。懸垂下降で南稜テラスまで戻り、一ノ倉沢出合いまでは緊張してフィックスロープを握りしめる箇所も多々あったが、無事に全員がトラブルも怪我もなく帰ってこれた。馬蹄形組とも丁度下山時刻が被り、ロープウェイ下で合流、赤城高原で一緒に食事をして解散した。

今回は本当に良い経験ができました。企画に参加させていただき、登らせてくださった先輩方に感謝申し上げます。(記:OB)



CT: 谷川岳インフォメーションセンター 3:00 - 一ノ倉沢出合 4:00 - 南稜テラス  
6:30/6:50 - 最終ピッチ登攀完了 11:00 - 南稜テラス 13:30 - 一ノ倉沢出合  
15:40 - 谷川岳インフォメーションセンター 17:00